

2020年4月27日

一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会
会員の皆様

一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会

回復期リハビリテーション病棟協会における
新型コロナウイルス感染防止への姿勢について

新型コロナウイルスの脅威が衰えることなく、全国で緊急事態宣言に基づいた対応が実施されています。

回復期リハビリテーション病棟においてはリハ・看護・介護を中心に日々の業務の中で患者さんとの濃厚接触を避けることができず、不安を抱えながら対応に苦慮されていることと存じます。また、新型コロナウイルス対策に関しても専門家会議を始め多くの意見が出ていますが、未だ統一見解には達しておらず地域によっても対応に差が出ているのが現状です。

全国で対応に苦慮され、「指針」を求める病棟の声が届いております。当協会としては、地域の感染状況、病棟構成、併設施設等の有無の状況がそれぞれ違うため、協会の統一見解を出して、それが各病院の方針と異なった場合かえって混乱を来す可能性を憂慮しております。

当協会では、まず各学術団体の指針が掲載されているホームページのリンクや、厚生労働省に対して感染症に伴う施設基準等の要望等を進めていきます。

また会員病院の皆様への対策への一助として、病棟構成や併設施設をお示しした上で、役員病院での対応を提示させていただきます。

この対応策は各病院独自で作成されたものであり、各病院で状況に応じて毎日変更されているものです。あくまでも参考として提示させていただきますので、その点を十分にご留意いただきますようお願いいたします。また新型コロナウイルスに関する情報は日々変化するため、この対応策も随時更新いたします。